

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和3年6月に「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」を公表した（詳細は2021年8月号参照）。

令和2砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：177万1000トン（前回見通しから4000トン減）

総供給量：181万7000トン（同1万1000トン増）

【加糖調製品】

消費量および供給量：47万トン（同1万5000トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：79万5000トン（同3万4000トン減）

表1 令和2砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		令和元砂糖年度 (実績)	令和2砂糖年度				合計	
			10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,721	456.9	400.9	428.6	448.7	1,735	
	含みつ糖	35	6.7	11.7	9.8	7.3	36	
	合計	1,756	463.6	412.6	438.4	456.0	1,771	
供給量	国内産糖	分みつ糖	777	362.3	369.3	40.6	-	772
		含みつ糖	11	1.1	7.7	1.0	-	10
		小計	788	363.4	377.0	41.6	-	782
	輸入糖	分みつ糖	1,002	285.9	143.1	292.9	304.2	1,026
		含みつ糖	8	1.6	3.7	2.5	0.8	9
		小計	1,010	287.5	146.8	295.4	305.0	1,035
	合計	分みつ糖	1,779	648.2	512.4	333.5	304.2	1,798
		含みつ糖	19	2.7	11.4	3.5	0.8	18
		小計	1,797	650.9	523.8	337.0	305.0	1,817
期末在庫		374	551.7	626.6	525.2	374.3	374	

資料：農林水産省「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和2砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和元砂糖年度 (実績)	令和2砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	496	121.8	115.6	108.8	123.8	470
供給量	496	121.8	115.6	108.8	123.8	470

資料：農林水産省「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：改正糖価調整法（2018年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和2砂糖年度の消費量は、令和元砂糖年度および平成30砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和2砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	令和元砂糖年度 (実績)	令和2砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	785	165.2	169.8	228.9	231.5	795
供給量	785	165.2	169.8	228.9	231.5	795

資料：農林水産省「令和2砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

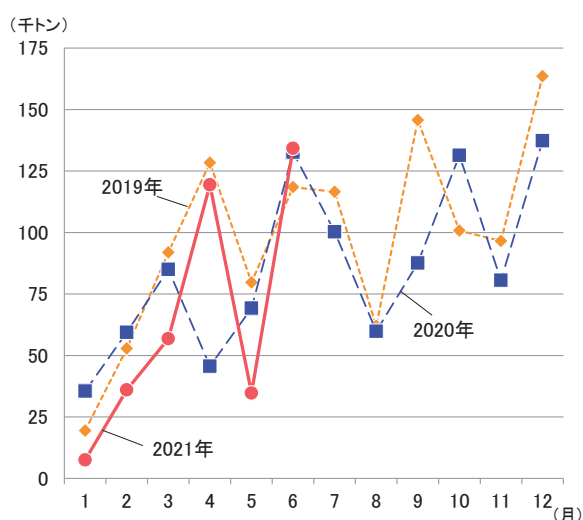
6月の輸入量は前年同月からわずかに増加

財務省「貿易統計」によると、2021年6月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、13万4197トン（前年同月比1.2%増、前月比3.9倍）であった（図1）。

輸入先国は甘しや糖・分みつ糖についてはタイ、甘しや糖・その他については豪州で、国別の輸入量は次の通りであった（図2）。

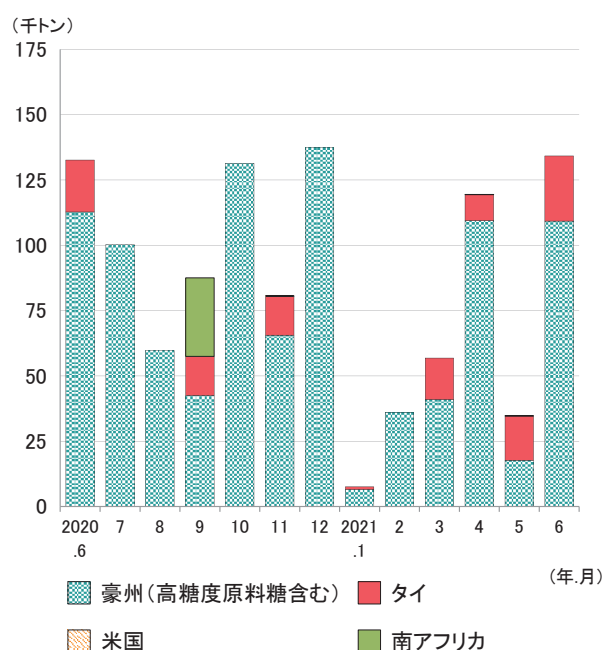
タイ 2万4917トン
（前年同月比25.0%増、前月比46.8%増）
豪州 10万9280トン
（同3.1%減、同6.2倍）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

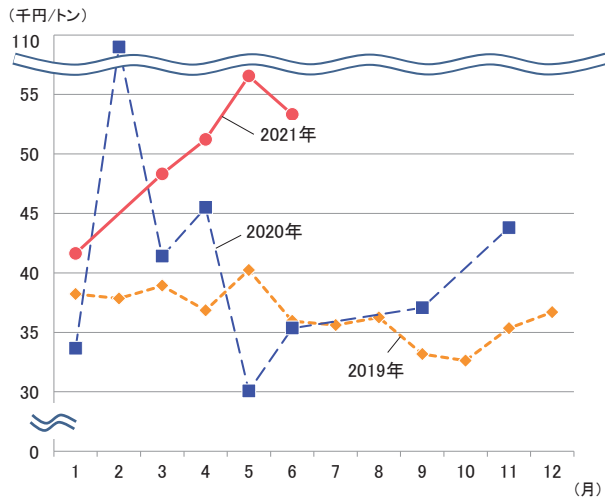
2021年6月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、5万3324円（前年同月比50.8%高、前月比5.7%安）であった（図3）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 5万3324円
（前年同月比50.8%高、前月比5.6%安）

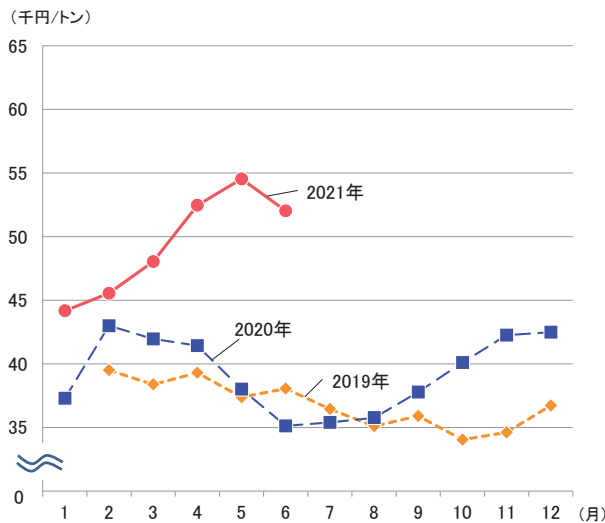
また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、5万2033円（前年同月比48.1%高、前月比4.6%安）であった（図4）。

図3 粗糖 (HSコード1701.14-110) の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2020年7月、8月、10月、12月および2021年2月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖 (HSコード1701.14-200の豪州) の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2019年1月は輸入実績なし。

【含みつ糖の輸入動向】

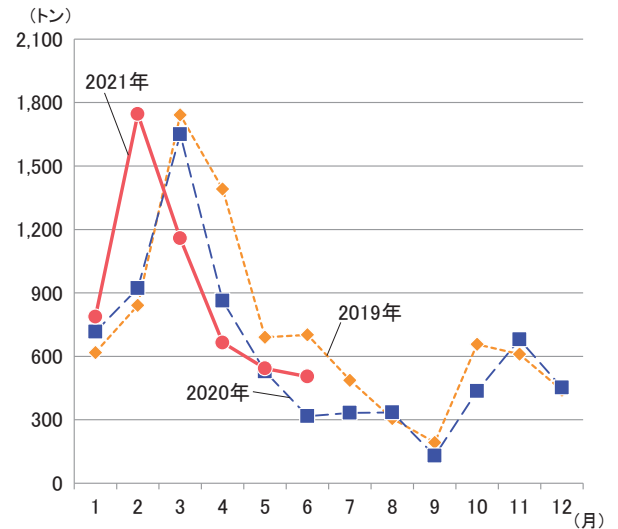
6月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年6月の含みつ糖 (HSコード 1701.13-000、1701.14-190) の輸入量は、504トン (前年同月比59.0%増、前月比7.2%減) であった (図5)。

輸入先国は中国、フィリピンおよびタイの3カ国で、国別の輸入量は次の通りであった (図6)。

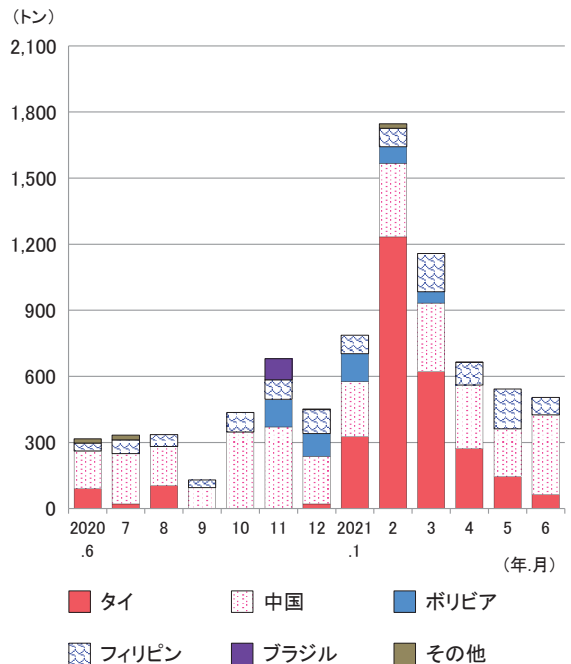
中国	362トン
(前年同月比2.1倍、前月比68.4%増)	
フィリピン	79トン
(同2.2倍、同56.4%減)	
タイ	63トン
(同30.0%減、同57.1%減)	

図5 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図6 含みつ糖の国別輸入量の推移



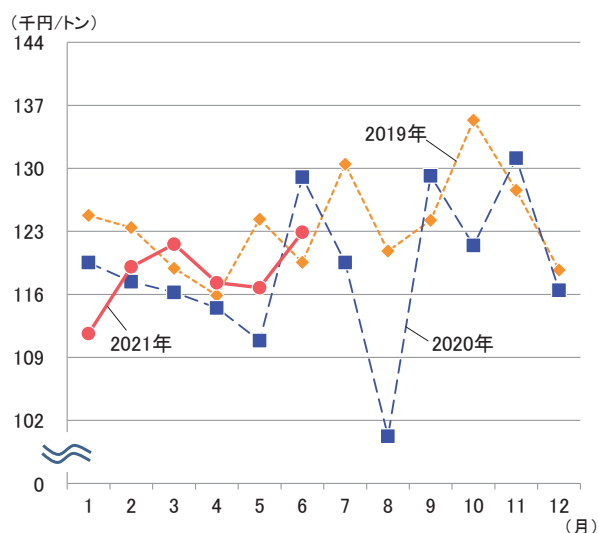
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2021年6月の1トン当たりの輸入価格は、12万2913円(前年同月比4.7%安、前月比5.3%高)であった(図7)。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	12万9022円
(前年同月比5.0%高、前月比3.8%高)	
フィリピン	11万9696円
(同28.7%安、同4.7%安)	
タイ	9万1841円
(同18.3%安、同3.2%安)	

図7 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

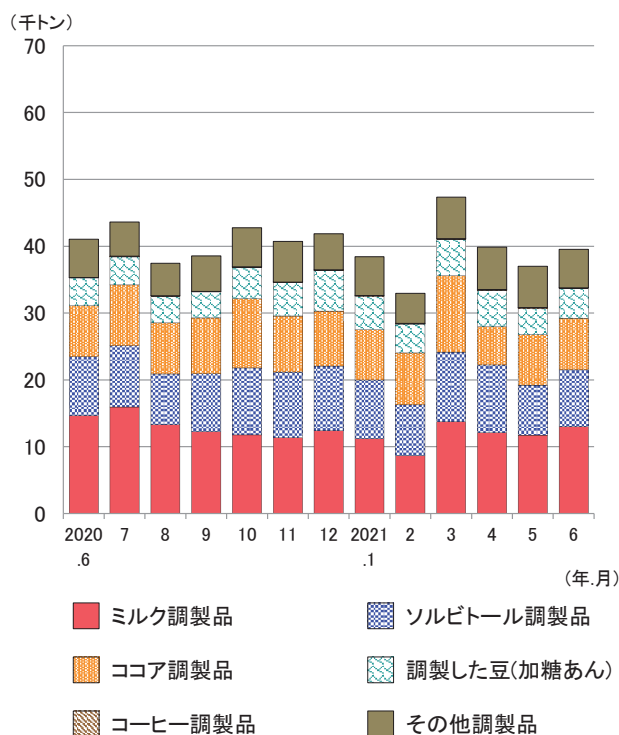
【加糖調製品の輸入動向】

6月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや減少

財務省「貿易統計」によると、2021年6月の加糖調製品の輸入量は、3万9545トン(前年同月比3.7%減、前月比6.9%増)であった(図8)。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：各品目のHSコードは、次の通り。
ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246
調製した豆(加糖あん)：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284
ソルビトール調製品：2106.90-510
その他調製品：2008.99.218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品品目別輸入量(6月)

(単位：トン)

区分	輸入量	前年同月比(増減比)	前月比(増減比)
ミルク調製品	12,985	▲11.7%	10.7%
ソルビトール調製品	8,496	▲3.3%	13.7%
ココア調製品	7,701	0.4%	1.9%
調製した豆(加糖あん)	4,557	11.1%	14.1%
コーヒー調製品	49	25.2%	▲37.2%
その他調製品	5,758	0.4%	▲6.7%
合計	39,545	▲3.7%	6.9%

資料：財務省「貿易統計」

3. 異性化糖の移出動向

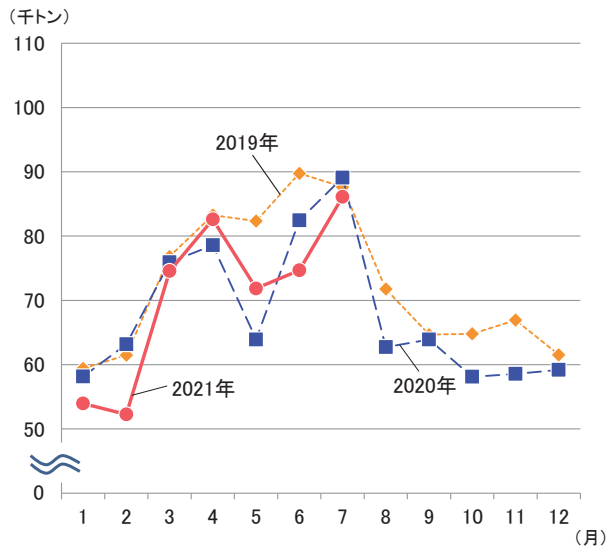
7月の移出量は前年同月からやや減少

2021年7月の異性化糖の移出量は、8万6102トン(前年同月比3.4%減、前月比15.3%増)であった(図9)。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった(図10)。

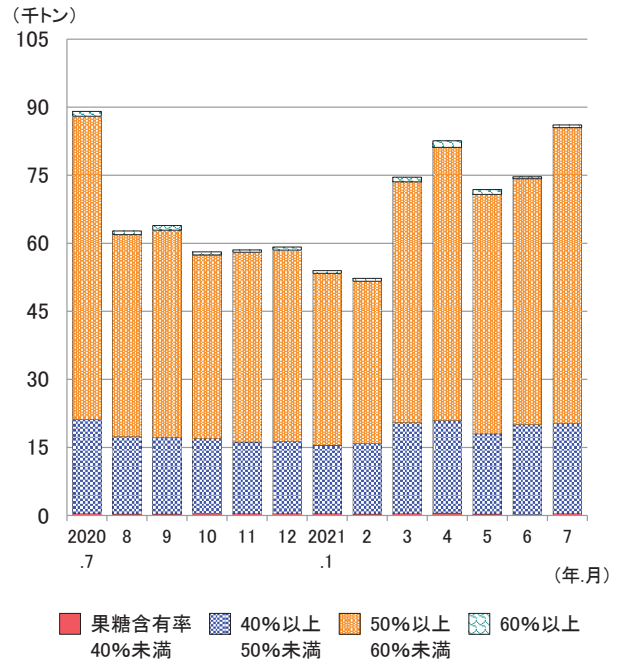
果糖含有率40%未満	416トン
(前年同月比17.1%減、前月比45.3%増)	
同40%以上50%未満	1万9900トン
(同3.7%減、同0.7%増)	
同50%以上60%未満	6万5195トン
(同2.5%減、同20.3%増)	
同60%以上	592トン
(同45.5%減、同35.4%増)	

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

7月の糖種別・地域別の砂糖価格(日経相場)は、次の通りであった。

上白糖(大袋)

東京	1キログラム当たり192~193円
大阪	同192~193円
名古屋	同196円
関門	同196円

上白糖(小袋)

東京	1キログラム当たり205~206円
大阪	同207円

本グラニュー糖(大袋)

東京	1キログラム当たり197~198円
大阪	同197~198円
名古屋	同201円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192～193円
 大阪 同192～193円
 名古屋 同194円

7月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり141～142円

果糖分55%もの

同147～148円

【小売価格】

7月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で32.7円

KSP-POSデータ(全国535店舗)によると、スーパーにおける7月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、195.7円（前年同月差3.8円高、前月差1.1円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は32.7円であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（7月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	202.3	4.0	0.9
東北	204.3	2.3	3.5
関東など	179.8	▲2.4	0.4
首都圏	197.8	9.6	0.7
中部	185.1	2.3	0.3
関西	192.0	▲2.3	1.1
中国・四国	212.5	8.7	2.0
九州・沖縄	191.3	2.0	0.7
全平均	195.7	3.8	1.1

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

7月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で79.7円

KSP-POSデータ(全国535店舗)によると、スーパーにおける7月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、247.6円（前年同月差3.3円高、前月差0.6円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は79.7円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（7月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	204.3	2.0	0.4
東北	284.0	12.5	1.1
関東など	252.3	0.4	▲1.1
首都圏	261.5	6.3	1.3
中部	254.0	3.0	0.1
関西	233.7	2.2	1.4
中国・四国	259.2	1.5	1.5
九州・沖縄	221.4	6.3	▲0.7
全平均	247.6	3.3	0.6

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

7月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で52.4円

KSP-POSデータ(全国535店舗)によると、スーパーにおける7月の三温糖小袋(1キログラム)の平均小売価格は、237.7円(前年同月差7.9円高、前月差7.1円高)であった。最も高かったのは九州・沖縄で、最も安かった関東などとの価格差は52.4円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった(表7)。

表7 三温糖の地域別平均小売価格(7月)

(単位:円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	224.7	0.7	▲2.2
東北	263.6	17.1	1.1
関東など	212.7	▲19.6	0.2
首都圏	221.7	0.0	0.2
中部	233.7	5.0	1.5
関西	227.8	▲3.3	0.3
中国・四国	253.1	1.8	2.1
九州・沖縄	265.1	64.7	60.6
全平均	237.7	7.9	7.1

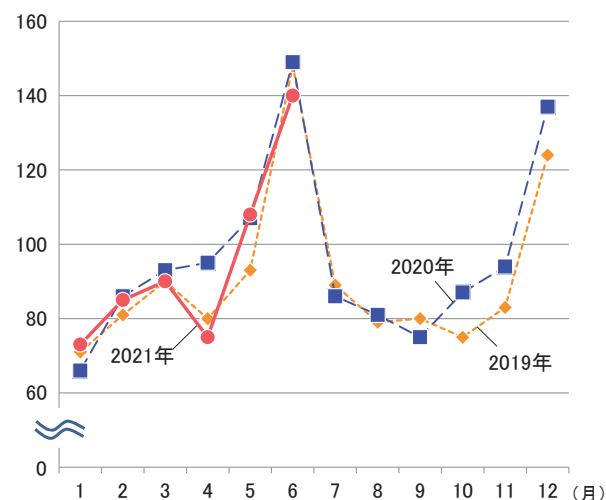
資料:農畜産業振興機構調べ(原典:KSP-POSデータ(全国535店舗))

【購入金額および購入量】

6月の砂糖の支出金額は前年同月からかなりの程度下落

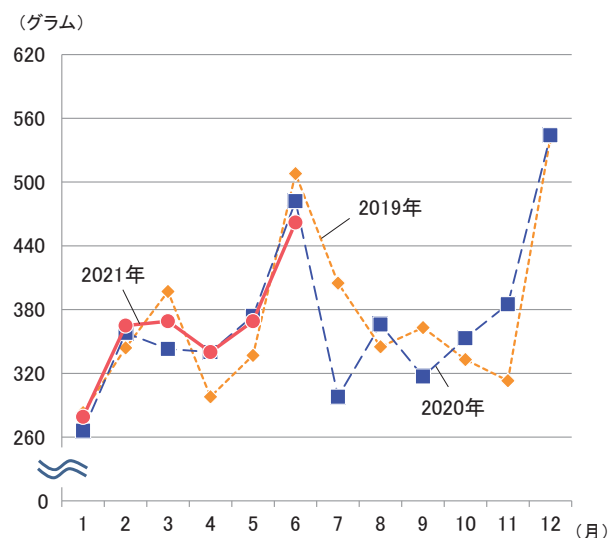
総務省「家計調査」によると、2021年6月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は43、1世帯(2人以上)当たりの支出金額は140円(前年同月比6.0%安、前月比29.6%高)であった(図11)。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、462グラム(同4.1%減、同25.2%増)であった(図12)。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移(円)



資料:総務省「家計調査」

図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移(グラム)



資料:総務省「家計調査」